

視点 選ばれる会社

建設業の常識を疑う

地球規模での環境問題が深刻化する中で、CO₂や廃棄物の排出量削減など、企業の積極的な対応が求められている。そこで、企業の環境対応をめぐる現状や課題などについて、『エコアクション21 認証・登録制度』を運営する地球環境戦略研究機関持続性センターの竹内恒夫エコアクション21中央事務局長に話を聞いた。竹内氏は「コスト削減や取引先の拡大にもつながる」と、環境に配慮した企業経営の実現を促す。

(聞き手は編集局＝山本倫弘)



地球環境戦略研究機関持続性センターエコアクション21中央事務局長

竹内 恒夫氏

⑦

環境経営で企業価値高める コスト削減、取引 拡大などに効果

環境問題の現状から教えてほしい。処理費、水道代に跳ね返る。結果的に企業のコスト削減にもつながることを理解してほしい。半年間で30%ものコスト削減を実現した例もあった。

「エコアクション21」が使われている。ISO14001に比べ、比較的簡易なシステムで取得費用も安い。中小企業などでも取り組みやすい環境経営システムだ。

「建設業に限れば、発注者である行政が、入札参加申請の主観点の評価などに取り上げるケースが広がってきた。客観的な評価の手段として、」

「例えば、石川県では、県が主観点の評価項目に採用したために、従業員5人程度の企業でも認証・登録した例がある。建設業の場合、行政の評価が取り組みのきっかけとなることが多い。ただ、結果的に環境への負荷が減らせるし、企業のコスト削減にもつながるのだから、否定的にはとらえていない。」

最後に中小企業経営者へのメッセージを。

「環境問題への対応は、誰かにやらされるものではない。自らの取り組みが企業価値を高めることにつながる」という考えを持ってほしい。その手段としてエコアクション21がある。環境問題への対応を進めるために、認証・登録制度を励みにしてほしい。」

「2004年10月のスタート以来、認証・登録者数は。」

「現在、認証・登録者数は。」

「環境負荷の軽減に向け、CO₂や廃棄物の排出量削減、水の使用量削減などが目標になる。これらは光熱費、廃棄物

「中小企業の場合はBtoB(企業間取引)中心の企業が多く、サプライチェーンに組み込まれている。その中で、環境への取り組みが取引先の条件となるケースが増えている。言い換えれば、中小企業だからこそ、環境への対応が避けられなくなっているともいえるだろう。」

「環境問題の現状から教えてほしい。処理費、水道代に跳ね返る。結果的に企業のコスト削減にもつながることを理解してほしい。半年間で30%ものコスト削減を実現した例もあった。」

「エコアクション21」が使われている。ISO14001に比べ、比較的簡易なシステムで取得費用も安い。中小企業などでも取り組みやすい環境経営システムだ。

「建設業に限れば、発注者である行政が、入札参加申請の主観点の評価などに取り上げるケースが広がってきた。客観的な評価の手段として、」

「例えば、石川県では、県が主観点の評価項目に採用したために、従業員5人程度の企業でも認証・登録した例がある。建設業の場合、行政の評価が取り組みのきっかけとなることが多い。ただ、結果的に環境への負荷が減らせるし、企業のコスト削減にもつながるのだから、否定的にはとらえていない。」

最後に中小企業経営者へのメッセージを。

「環境問題への対応は、誰かにやらされるものではない。自らの取り組みが企業価値を高めることにつながる」という考えを持ってほしい。その手段としてエコアクション21がある。環境問題への対応を進めるために、認証・登録制度を励みにしてほしい。」

「2004年10月のスタート以来、認証・登録者数は。」

「現在、認証・登録者数は。」

「環境負荷の軽減に向け、CO₂や廃棄物の排出量削減、水の使用量削減などが目標になる。これらは光熱費、廃棄物